

かがやく

たいよう

【 英語学習 】

「国際化」や「グローバル化」という言葉が飛び交っています。そのため小学校から英語を学習しようというムードが高まっています。

文部科学省の方針によると、2011年度（3年後）から小学校5・6年生は年間35時間（およそ週に1時間）の英語学習が必須となります。本年度から本格導入までの3年間は移行期間とされています。この期間に私たち教員は効果的な英語学習ができるよう、準備、研鑽しなければなりません。

今のところ英語学習に教科書はありません。文部科学省は「英語ノート」を作成し、実際の授業は学校現場の裁量に任せるとしています。ということは学校の取り組み方や教員の能力によって差がでることになります。そのようなことがないよう日本中の教員が真剣に取り組むべき課題と考えています。

橋本市は英語学習にたいへん理解があり、協力してくれています。今年も外国人の先生が来てくれています。お名前は、

Conchita Dumagay（コンチタ デウマゲイ）さんです。

1・2年生は月に1時間、3～6年生は月に2時間の英語授業を実施します。実際に外国人とふれあって、少しでも外国の文化や英語になじむことはたいへん大切であり、今後の英語学習に大きな効果をもたらすものと確信しています。

ただ、英語に限らず外国語に必要なことは、単語や文法をたくさん覚えて流暢に話すことだけではありません。もっと大切なことは話す内容が豊富かどうかです。自国と相手国の文化、歴史、国情、国民性をしっかり理解して思いやりをもって会話をすることです。

日本語を話す時に、表情豊かに内容を簡潔に話す訓練をすることが外国語上達の秘訣です。私が以前勤務していた会社は売上の50%以上が外国との取引でしたので外国語を話す機会が多かったです。

その時実感したのが社員の中で、「日本語を上手に話す人は英語も上手」であり、「日本語で上手に会話ができない人は英語も上手でない」ということです。

つまり、自国のことを自国の言葉でしっかり話せることが真の国際人への第一歩と考えています。本校では、英語に慣れ親しむ学習とともに、日本語でのコミュニケーションを十分にできるようになる学習を車の両輪のように重視していきます。

【 よい歯を育てるコンクール 】

6月5日に、第56回伊都地方よい歯を育てるコンクールが開催されました。伊都地方の小学校32校、170名が参加しました。

各学校で1～6年生の代表各1名を選び当日審査を受けました。その結果、本校2年生代表児童が見事2位に入賞しました。

おめでとうございます。これからも405名の児童全員が健康維持のために歯を大切にすることを願っています。

【 緑の募金 】

緑の募金にご協力いただきありがとうございました。

合計 8420円 集まりました。

和歌山県緑化推進会を通じて、森林の整備や緑化推進活動に役立てていただきます。ありがとうございました。

【 図書室ボランティア 】

昨年6月から有志の皆様が、月に1～2回、図書室ボランティアをしていただいています。子どもたちが足を運びやすく、より本に親しめるような使いやすい図書室を目指して主に以下のような活動をしていただいています。

* 図書の整理や修繕

* 図書室内の壁や出入り口を季節に合わせて飾り付けをする。

季節に応じたムードを作ることによって、子どもたちの読書意欲はさらに大きくなると思います。

季節は梅雨です。7月7日は七夕さまです。この時期に合わせて図書室ボランティアの皆様が「七夕かざり」を計画してくれています。

保護者の皆様で、もしお時間があればぜひお手伝いいただければありがたいです。子どもたちが楽しく読書ができるように願いをこめて、いっしょに七夕かざりをしませんか。童心にかえって楽しい作業になると思います。子どもと参加いただき、下校時間にいっしょに帰っていただいても結構です。お気軽に参加してください。（準備物は不要です）

日時 : 6月23日(月) 13:30～ 三石小学校図書室にて

《 校長 米田 》